PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11) Publication number: 07320042 A

(43) Date of publication of application: 08.12.95

(51) Int. CI G06T 1/00 G06F 12/00

(21) Application number: 06138231

(22) Date of filing: 27.05.94

(71) Applicant:

RICOH CO LTD

(72) Inventor:

HARADA TAKASHI

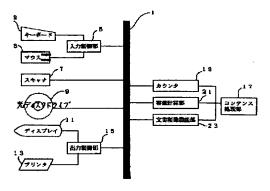
(54) ELECTRONIC FILING DEVICE

(57) Abstract:

PURPOSE: To efficiently condense image data which become unnecessary when the unnecessary image data are deleted by performing a document deleting processing and a condensing processing associatively in a serial flow.

CONSTITUTION: After a document deleting function part 23 deletes an unnecessary document, a user selects whether or not the unnecessary document is condensed (to make an unnecessary area usable). Namely, the free capacity after the condensing process which is found by a counter 19 and a capacity calculation part 21 by calculating the area to be condensed is displayed as a judgement material on a display 11 and on the basis of it, whether or not the condensing process is performed is selected. When the condensing function is selected, a condensing processing part 17 condenses the area and ends the processing. When the condensing function is not selected, the processing is ended at this stage.

COPYRIGHT: (C)1995,JPO



(19) 日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報 (A) (II) 特許出願公開番号

特開平7-320042

(43) 公開日 平成 7年 (1995)12 月 8日

(51) Int. Cl. 6

織別記号 庁内整理番号

G 0 6 T G06F

1/00

FΙ

技術表示箇所

12/00

501 B 7608 - 5 B

9071 - 5 L

G06F

330 A

審査請求

未請求

請求項の数 6

FD

(全 5 頁)

(21) 出願番号

特願平6-138231

(22) 出願日

平成6年(1994)5 月27日

(71) 出願人 000006747

15/62

株式会社リコー

東京都大田区中馬込1丁目3番6号

(72) 発明者 原田 尚

東京都大田区中馬込一丁目3番6号

株式会

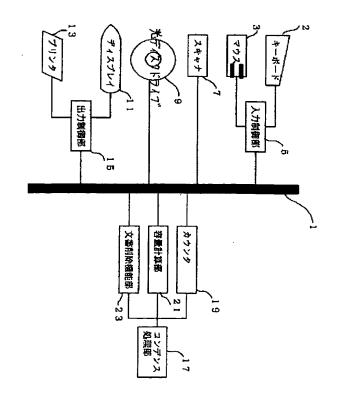
社リコー内

(54)【発明の名称】電子ファイリング装置

(57)【要約】

【目的】 不要となった画像データを削除する際に上記 不要となった画像データのコンデンス(上記不要領域を 利用可能にする動作)を非常に効率良く行うことができ る電子ファイリング装置を提供する。

【構成】 文書等の画像データを読み取って編集処理を 行って登録しておき、必要時に所望の画像データを検索 して読み出すための電子ファイリング装置であって、不 要となった画像データの削除処理と連動してコンデンス を行う手段と、その連動を選択・確認させる手段とを有 し、削除処理の度に上記連動を確認した上でコンデンス を行う様にした構成となっている。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 文書等の画像データを読み取って編集処 理を行い登録しておき、必要時に所望の画像データを検 索して読み出すための電子ファイリング装置であって、 不要となった画像データの削除処理と連動してコンデン スを行う手段と、その連動を選択・確認させる手段とを 有し、削除処理の度に上記連動を確認した上でコンデン スを行う様にしたことを特徴とする電子ファイリング装

【請求項2】 文書等の画像データを読み取って編集処 理を行い登録しておき、必要時に所望の画像データを検 索して読み出すための電子ファイリング装置であって、 不要となった画像データの削除領域を計算する手段と、 削除領域を表示する手段と、該コンデンス対象容量を設 定する手段とを有し、上記コンデンス対象容量が一定量 になったらコンデンスを行う様にしたことを特徴とする 電子ファイリング装置。

【請求項3】 文書等の画像データを読み取って編集処 理を行い登録しておき、必要時に所望の画像データを検 索して読み出すための電子ファイリング装置であって、 不要となった画像データの削除領域をコンデンスするの に要する時間を求める手段と、該コンデンス時間を表示 する手段と、該コンデンス時間を設定する手段を有し、 上記コンデンス時間が設定値になったらコンデンスを行 う様にしたことを特徴とする電子ファイリング装置。

【請求項4】 文書等の画像データを読み取って編集処 理を行い登録しておき、必要時に所望の画像データを検 索して読み出すための電子ファイリング装置であって、 任意の時間を設定する手段を有し、設定した時間に達し たらコンデンスを行う様にしたことを特徴とした電子フ ァイリング装置。

【請求項5】 上記設定した時間まで何もイベントが行 われなかった場合にのみ、コンデンスを行う様にしたこ とを特徴とした請求項4記載の電子ファイリング装置。 【請求項6】 文書等の画像データを読み取って編集処 理を行い登録しておき、必要時に所望の画像データを検 索して読み出すための電子ファイリング装置であって、 削除文書にコンデンス許可のフラグを設定する手段を有 し、許可フラグをもつ文書のみをコンデンスする様にし たことを特徴とする電子ファイリング装置。

【発明の詳細な説明】

[0001]

【産業上の利用分野】本発明は、文書等の画像データを 読み取って編集処理を行い登録しておき、必要時に所望 の画像データを検索して読み出すための電子ファイリン グ装置に関し、特に、不要となった画像データを削除す る際に上記不要となった画像データのコンデンス (上記 不要領域を利用可能にする動作)を非常に効率良く行う ことができる電子ファイリング装置に関する。

[0002]

【従来の技術】一般に、文書等の画像データを読み取っ て編集処理を行って登録しておき、必要時に所望の画像 データを検索して読み出すための電子ファイリング装置・ が知られており、上記編集処理の際に、不要となった画 像データの文書や頁を削除する機能と削除された文書や 頁をコンデンス(削除領域を利用可能にする)する機能 を有した電子ファイリング装置が知られている。ところ が、従来の電子ファイリング装置においては、上記不要 となった文書や頁を削除する機能と削除された文書や頁 をコンデンスする機能とが別メニューである(直接つな がりがない、連続した機能ではない)ために、上記コン デンスの実行はユーザー任せとなっており、コンデンス する文書数等が多い場合、コンデンスに非常に時間がか かってしまい、業務等に支障がでてしまうという欠点が あった。特開平5-225253号では、コンデンスの 進行状況をユーザーに知らせる技術は開示されている が、この場合もコンデンスの実行はユーザーが行わなけ ればならずコンデンスに時間がかかり業務を大きく中断 しなければならない欠点は変わらなかった。

20 [0003]

【発明の目的】本発明は、上述の如き従来の問題点を解 決するためになされたもので、その目的は、不要となっ た画像データを削除する際に上記不要となった画像デー タのコンデンス (上記不要領域を利用可能にする動作) を非常に効率良く行うことができる電子ファイリング装 置を提供することである。

[0004]

40

【発明の構成】上記目的を達成するため、本発明の特徴 は、文書等の画像データを読み取って編集処理を行って 30 登録しておき、必要時に所望の画像データを検索して読 み出すための電子ファイリング装置において、不要とな った画像データの削除処理と連動してコンデンス(上記 不要領域を利用可能にする動作)を行う手段と、その連 動を選択・確認させる手段とを有し、削除処理の度に上 記連動を確認した上でコンデンスを行う様にしたことで ある。上記構成によれば、文書削除処理とコンデンス処 理とを一連の流れで連動して行う様にしたので、不要と なった画像データを削除する際に上記不要となった画像 データのコンデンスを非常に効率良く行うことができ

【0005】以下、本発明の一実施例を図面に基づいて 説明する。図1は、本発明を実施した電子ファイリング 装置の概略構成図である。図1に示す如く、この電子フ ァイリング装置は、指示入力を行うためのキーボード2 およびマウス3の接続された入力制御部5と、画像デー タを読み取るためのスキャナフと、画像データを記録し 登録するための光ディスクドライブ9と、種々の情報を 表示するディスプレイ11および印刷出力を行うプリン タ13の接続された出力制御部15と、文書削除処理後 50 にコンデンス処理を自動的に行うためのコンデンス処理

3

部17の接続されたカウンタ19および容量計算部21 および文書削除機能部23とがシステムパス1に接続さ れた構成となっている。

【0006】次に、図2の動作フローチャート図を参照して本発明による電子ファイリング装置の第1実施例の動作について説明する。図2のステップ101において、上配文書削除機能部23によって不要文書の削除が行われた後、ステップ103において、ユーザーにより上配不要文書のコンデンス(不要領域を利用可能にすること)をするか否かの選択がなされる。すなわち、上配カウンタ19や容量計算部21によってコンデンス対象のエリアを算出して求めたコンデンス処理時間やコンデンス対象の領域を算出して求めたコンデンス後の空き容量が判断材料として上配ディスプレイ11に表示され、それに基づいて上配コンデンス実行か否かの選択がなされる。

【0007】次に、上記ステップ103においてコンデンス機能が選択された場合、ステップ105において、上記コンデンス処理部17によってコンデンスが実行され、処理が終了される。また、上記ステップ103においてコンデンス機能が選択されない場合も、処理が終了される。次に、本発明の第2実施例について説明する。この第2実施例は、上記第1実施例と動作のみ異なるので、図3の動作フローチャート図を参照して本発明による電子ファイリング装置の第2実施例の動作について説明する。

【0008】図3のステップ201において、まず、ユーザーによりコンデンスを開始するコンデンス対象容量の上限が予め設定される。そして、ステップ203において、上記文書削除機能部23によって不要文書の削除が行われた後、ステップ205において、上記容量計算部21によってコンデンス対象の容量が計算される。次に、ステップ207において、上記計算されたコンデンス対象の容量が上記設定されたコンデンス対象容量の上限を越えるか否かが自動的に判定され、越える場合、ステップ209において、上記コンデンス処理部17によってコンデンスが実行され、処理が終了される。また、上記ステップ207において上記設定上限を越えない場合も処理が終了される。

【0009】次に、本発明の第3実施例について説明する。この第3実施例は、上記第1実施例と動作のみが異なるので、図4の動作フローチャート図を参照して本発明による電子ファイリング装置の第3実施例の動作について説明する。図4のステップ301において、まず、ユーザーによりコンデンスに要する時間が予め設定される。そして、ステップ303において、上記文書削除機能部23によって不要文書の削除が行われた後、ステップ305において、コンデンス時間が算出される。

【0010】次に、ステップ307において、上記算出 されたコンデンス時間が上記設定されたコンデンス時間 を越えるか否かが自動的に判定され、越える場合、ステップ309において、上記コンデンス処理部17によってコンデンスが実行され、処理が終了される。また、上記ステップ307において上記設定されたコンデンス時間を越えない場合も処理が終了される。次に、本発明の第4実施例について説明する。この第4実施例は、上記第1実施例と動作のみが異なるので、図5の動作フローチャート図を参照して本発明による電子ファイリング装置の第4実施例の動作について説明する。

(【0011】図5のステップ401において、まず、ユーザーによりコンデンスを開始する時間が予め任意に設定される。そして、ステップ403において、上記設定された開始時間になったか否かが自動的に判定され、設定時間になっている場合、ステップ405において、コンデンス処理が行われ、処理が終了される。次に、本発明の第5実施例について説明する。この第5実施例は、上記第1実施例と動作のみが異なっているので、図6の動作フローチャート図を参照して本発明による電子ファイリング装置の第5実施例の動作について説明する。

20 【0012】図6のステップ501において、まず、ユーザーによりコンデンスを開始する時間が予め任意に設定される。そして、ステップ503において、イベントが発生しているか否かが判定される。上記ステップ503においてイベント発生がない場合、ステップ505において、上記設定された開始時間になったか否かが自動的に判定され、設定時間になっている場合、ステップ507において、コンデンス処理が行われ、処理が終了される。

【0013】次に、本発明の第6実施例について説明する。この第6実施例は、上記第1実施例と動作のみが異なっているので、図7の動作フローチャート図を参照して本発明による電子ファイリング装置の第6実施例の動作について説明する。図7のステップ601において、文書削除処理が行われると、ステップ603において、自動的にコンデンスを行って良い文書に対して付けるコンデンス許可フラグを付けるか否かが判定される。上記ステップ603においてコンデンス許可フラグを付ける場合、ステップ605において、コンデンス許可フラグが付けられて自動的にコンデンス処理が行われて処理が終了する。上記ステップ603でコンデンス許可フラグを付けない場合は、そのまま処理が終了する。

[0014]

【発明の効果】本発明によれば、文書削除処理とコンデンス処理とを一連の流れで連動して行う様にしたので、不要となった画像データを削除する際に上記不要となった画像データのコンデンス(上記不要領域を利用可能にする動作)を非常に効率良く行うことができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明を実施した電子ファイリング装置の概略 50 構成図である。

6

【図2】本発明による電子ファイリング装置の第1実施 例の動作フローチャート図である。

(P

【図3】本発明による電子ファイリング装置の第2実施 例の動作フローチャート図である。

【図4】本発明による電子ファイリング装置の第3実施 例の動作フローチャート図である。

【図5】本発明による電子ファイリング装置の第4実施 例の動作フローチャート図である。

【図6】本発明による電子ファイリング装置の第5実施 例の動作フローチャート図である。

【図7】本発明による電子ファイリング装置の第6実施 例の動作フローチャート図である。 【符号の説明】

1…システムパス、

2…キーボ

ード、3…マウス、

5 ...

入力制御部、7…スキャナ、

9…光ディスクドライブ、11…ディスプレイ、

13…プリンタ、15…出力制御部、

17…コンデンス処理部、19

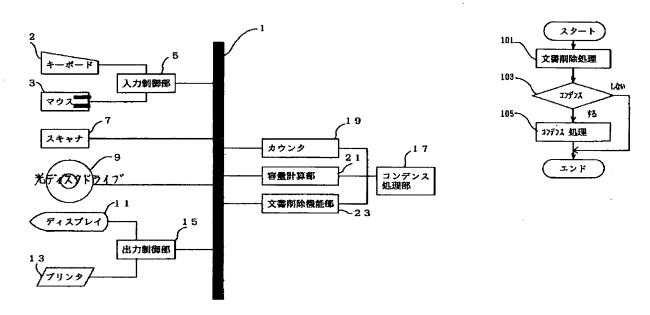
…カウンタ、

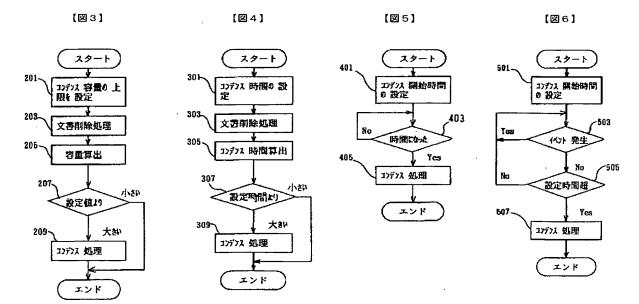
2 1…容量計算

部、23…文書削除機能部、101~105、201~ 10 209、301~309、401~405、501~5 07、601~605…各ステップ、

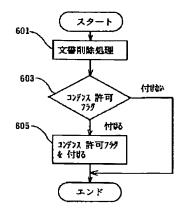
【図1】

【図2】





【図7】



This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning Operations and is not part of the Official Record

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

BLACK BORDERS

IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES

FADED TEXT OR DRAWING

BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING

SKEWED/SLANTED IMAGES

COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS

GRAY SCALE DOCUMENTS

LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT

REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

☐ OTHER: ____

As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.